

## 感動と出会い

高校に入ったばかりのころを思い出してしまいました。言葉で表現するのは難しいのですが、身が引き締まるというか……妙に緊張するというか……今までの自分が知らないものがそこにあって、ワクワクするというか……そんな感覚です。

先週の金曜日、瑞浪市議会が行われる議場で「中学生と市議会議員と」の意見交換会」が開催され、本校からも後期の生徒会執行部の五名が参加しました。中学生の質問に市議会議員が答弁する形で行われ、私も傍聴しました。

議場に入ることすらなかなかないものです。そのうえ、議席に座り質問させていただけたのですから、中学生にとっては大変貴重な経験となったはずです。しかし、私が本日書こうとしていることはそのことではありません。議場に市内の三つの中学校のリーダーたちが集まったその雰囲気について注目しました。

具体的な話をする前に言っておきますが、北中のリーダーたちも実に見事な立ち居振る舞いや発言をしました。その場で質問や意見を求められて、さっと挙手をして発言する生徒もいました。他の二校に決して引けを取るものではないと私は思いました。

私が注目したのは、三校が集まると、それぞれの素晴らしさが発揮され、大きな刺激になるということです。北中以外で言うと、南中は女子生徒三名が地域の状況を鋭く見つめた意見を、滑らかな語り口調で発言しました。瑞中は、男子生徒三名が質問に切実感をもたせるため、全校生徒を対象に実施したアンケート調査結果（具体的な数字）を盛り込んで発言していました。北中も含め、市内の二つの学校がそれぞれのよさを出し合い、刺激し合った素敵な会となりました。

私は旧釜戸中学校を卒業しました。小さな中学校から大きな高校に進学したため、あらゆる中学校から集まってくる初めて出会う仲間とは仲間でした。いろんな中学校から集まってくる初めて出会う仲間たち。その中には、これまで出会ったことのないような個性的な者、勉強も運動もけた外れに優れた者、すばらしい特技をもった者などがたくさんいました。そういう仲間に出会う度に、驚くと同時に、これまでの自分の世界の狭さを痛感しました。

「感動が人を動かし、出会いが人を変える」（相田みつを）という言葉があります。感動するような出来事や、自分を変えるかもしれない出会いに臆病にならないようにしたいものですね。北中を卒業すると、そういう感動や出会いがたくさんあなたを待っていますよ。でも、

今の感動や出会いも、将来のそれらと同様に大切にしてくださいね！（十一月四日記）

